

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月18日作成)

小委員会名	省エネルギー計画評価ツール開発小委員会	主 査 名：横山計三 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主 査 名：田中英紀
設 置 期 間	2023年4月 ～ 2025年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>今後建築物のZEB化が求められるが、中小規模の建物等を対象に、ZEB化に向けた省エネルギー計画を立案する場合の省エネルギー効果と設備費を計算する省エネルギー評価ツールを開発する。すでにオフィス版は発表されているが、病院版について完成を目指す。</p> <p>初年度：病院を対象用途建物として進めており、その完成を図り、シンポジウムを開催する。</p> <p>2年度：中小規模建物に適した省エネルギー計画手法をまとめ、本委員会活動の成果を配布資料にまとめる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：横山計三 (芝浦工業大学) 幹事：岡 建雄 (宇都宮大学名誉教授)、金田久隆 (大林組) 委員：海藤俊介 (NTTファシリティーズ)、森川元樹 (森川設計)、木村博則 (石本建築事務所)、武田晃成 (コージェネレーション・エネルギー高度利用センター)、高久香織 (巴コーポレーション)、狩野直樹 (きんでん)、赤嶺嘉彦 (建築研究所)、中島康孝 (工学院大学名誉教授)、岡本 茂 (東畑建築事務所)、佐々木正信 (東京電力エナジーパートナー)</p>	
設置 WG (WG名：目的)		
2023年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	8回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 90% ツール開発は、おおむね完成した。また、概要書、計算体系などの資料の作成も進めることができた。シンポジウムの開催は来年度に開催することとした。
委員会活動の問題点・課題	1. ツールのエクセルシートの連携の確認や計算結果の検証に時間がかかった。

*中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価 (中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1) SHEEP-HOSPITAL のツール作成、計算結果の検証、修正等を行った。 ①省エネ検討ツール SHEEP-H をおおむね完了した。 ②各入力項目における計算結果を確認した。 ③エクセルシート間の連携不具合を調整した ④計算根拠となる、単位負荷、省エネ率などの根拠を整理し、調整した。</p> <p>2) 実建物を対象にツールの評価を行った。</p> <p>3) 計算体系の整理 (継続) SHEEP-Hospital の計算方法の根拠などの整理を行い、資料を作成した。 細かい修正はあるが概略の構成はできている。</p> <p>1. 建物条件 2. 負荷計算手法 3. エネルギー計算方法： ・エネルギー量計算方法、省エネ手法と計算方法、根拠資料など ・建築、空調設備、電気設備、衛生設備、昇降機設備、太陽光発電 4. コスト 5. エネルギーソース ・電気、ガスの一次エネルギー、CO₂原単位、コストなど 以上</p>

- 総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。
- 提出対象年：設置期間4年の場合は、2年目「中間年度評価」、4年目「最終年度評価」(1年目・3年目不要)
 設置期間3年の場合は、2年目「中間年度評価」、3年目「最終年度評価」(1年目不要)
 設置期間2年の場合は、1年目「中間年度評価」、2年目「最終年度評価」
 設置期間1年の場合は、1年目「最終年度評価」